

令和2年度 経営計画

千葉県信用保証協会

1. 業務環境

(1) 千葉県の景気動向

令和2年1月頃までの景気は、製造業を中心に弱さが一段と増した状態が続いているものの緩やかに回復し、先行きについても雇用・所得環境の改善が続くなかで各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くことが期待されていました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症が内外の経済に大きな影響を与えており、景気動向は急速に悪化しています。また、今後の海外経済の動向や金融・資本市場の変動の影響にも留意する必要があります。

県内経済も、生産活動や個人消費が緩やかに持ち直しつつあり、雇用情勢も改善していましたが、昨秋に相次いだ台風や大雨による災害に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況となっています。

(2) 中小企業を取巻く環境

現状においても収益の見込は厳しく、事業承継、人手不足等の課題も抱える中、今般の新型コロナウイルス感染症の影響は、中小企業の経営に大きな打撃を与えています。

2. 業務運営方針

令和元年度の保証承諾は、金融環境の変化等から減少傾向となり、代位弁済は、中小企業の景況感が下向きとなっている等の影響から増加傾向となっています。

しかしながら、3月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により中小企業の資金需要が増したことから保証承諾は大きく増加し、代位弁済についても更に増加に転じています。

当協会は、新型コロナウイルス感染症により業況の悪化や資金繰りに支障が生じる等、事業活動に様々な影響を受ける中小企業・小規模事業者の皆様に対して、地域金融機関、県・市町村、関係機関の皆様と連携、協力し、親身な相談対応や適時適切な保証、必要に応じて経営改善支援を行うなど、個別企業の実情に応じた十分な対応に努めていきます。

当協会は、平成30年度から令和2年度までの3カ年度の基本経営計画において「お客さま満足の追求（CS）」「地域・社会への貢献」「組織の活性化（ES）」「経営基盤の強化」の4つを基本目標と定めています。

令和2年度は、基本目標である「お客さま満足の追求（CS）」を第一に、中小企業の経営改善・生産性向上を支援するため、①金融機関との連携態勢の推進②中小企業の資金調達等を支援する新たな保証制度の創設③事業承継支援の取組の推進④創業支援の取組の推進⑤経営改善支援の取組の推進を重点施策として位置づけています。

基本経営計画の最終年度にあたる令和2年度は、これらの基本目標に基づき、役職員が一丸となり、「ありがとう」の一步先へ行くサービスを提供することにより、「中小企業のベストパートナー」として、信頼される協会の実現に邁進していきます。

(1) お客様満足への追求(CS)

中小企業の皆様のひとつひとつの資金需要に親切かつ丁寧に向き合うことで、金融の円滑化という信用保証協会本来の役割を発揮するとともに、中小企業や金融機関の皆様のニーズに沿ったより質の高いサービスの提供や保証申込みの利便性を向上することでお客様満足度の向上（CS）を実現します。

中小企業のライフステージに応じた、創業支援、経営改善・事業再生支援にかかる経営支援態勢の強化に加え、喫緊の課題である経営者の高齢化に対応するため、事業承継支援を一層充実させる等、中小企業の皆様が抱える様々な経営課題の解決に向け、当協会がより身近な存在として積極的な支援を行います。

金融機関では、AIやフィンテックに代表される金融とITの融合の動きが急速に広まっていることを踏まえ、当協会としてもこうした動きに適切に対応していくとともに、お客様サービスの充実のため保証審査業務等の合理化、効率化（BPR）に向けて、自ら積極的に取り組んでいきます。

(2) 地域・社会への貢献

地方創生のためには、金融機関、支援機関、自治体、大学等の皆様との連携が最も重要であると捉えていることから、当協会は、地方創生支援、創業支援、経営改善・事業再生支援、事業承継支援等、様々な場面において各機関様との連携を模索し、地域経済の活性化に向けた取り組みを行います。

(3) 組織の活性化(ES)

保証審査業務等の合理化、効率化（BPR）や経営支援の充実、地方創生への貢献等、重要課題に適切に対応していくためには、職員一人ひとりのスキルアップが重要になることから、外部機関への派遣や資格取得の奨励、専門性の高い研修を行うことにより、能力開発・人材育成に努めます。

(4) 経営基盤の強化

“公的な保証人となり中小企業の資金繰りの円滑化を図る”という保証協会本来の役割を発揮し、個々の中小企業の経営課題に応じた経営支援の充実を図り、地方創生に貢献していくためには、経営基盤の強化が重要であることから、より健全で効率的な運営に努めます。

3. 保証承諾等の見通し

令和2年度の保証承諾等の主要業務数値(見通し)は、以下のとおりです。

項 目	金 額	前年度実績比
保証承諾	416,251百万円	90.3%
保証債務残高	906,267百万円	96.5%
代位弁済	19,796百万円	112.0%
回 収	3,005百万円	91.9%

※ 本計画数値は新型コロナウイルス感染症による影響の発生前に作成したものです。